

## 遇一人白首，择一城终老 | 沐丝有话说 宗闪(Zong shan) 著

生涯の伴侶に巡り合い、一生をその街で過ごす。 | 沐絲が話したいこと 著者：宗閃<sup>そうせん</sup>

原创 2017-03-10S 朱沐的小仙鹤 和歌山，日本一个名不见经传的小山村。

オリジナル制作 2017-03-10、沐絲 (Mu su) ファンクラブ和歌山 (日本の名もない一つの小さな山里) (注) 「沐絲」「小仙鶴」は香港で活躍する作家朱沐 (Zhu mu) のファンクラブの名称。本文の著者である宗閃さんは、朱沐ファンクラブの一員である。

它很小，小到只用一天就可以逛遍。

それは大層小さく、たった一日でくまなく逍遥できるほどだ

它很大，大到足够我用一生去了解。

それはとても大きく、理解するのに私の一生が要るほどだ

——题记 前書き

和歌山市，位于近畿地方西南部，和歌山县北部。在江户时代，由纪州德川家治理的纪州小镇开始发展繁荣，也叫若山（日语发音相同）。

和歌山市は、近畿地方西南部・和歌山県北部に位置する。江戸時代に紀州徳川家が統治した紀州藩より発展繁栄を開始し、また若山（日本語の発音は同じ）と呼ばれる。

和歌山四面环海靠山，三季（除夏季）气候宜人。

和歌山の四面は海に囲まれ山が近接する、3つの季節（夏を除く）の気候は気持ちが良い。

市区有河流横贯，又有大桥横跨其上，不论晴雨，行驶在桥上都有无限美景尽收眼底。市区を横に貫く川があり、またその上をまたぐ大橋があり、橋の上を行けば限りない美景が視界に入る。

和歌山的天空很低，像是一块画布，由着随性的云彩河流任意涂画，它只默默地允着，似一位老人微笑慈视自己心爱的孩子们肆意玩耍。

和歌山の空は低く、一枚キャンバスの様に、気ままにふるまう雲と川が任意に描かれる。

それはただ黙ったまま、1人の老人が自分の愛する子供が無邪気に遊戯するのを、微笑み慈しんで見ているのに似る。

这时候的和歌山是静谧的，使人充分感受到它的广阔。

この時の和歌山は穏やかで、人に充分にその奥深さを感じさせる。

爱上和歌山，从我第一次来到这里开始。

和歌山への愛は、私が初めてここに来た時から始まる。



对于大多数到日旅游的朋友来说，和歌山并非热门必选之地。

日本に旅行に来た友人の大多数に関して言えば、和歌山は決して人気があり選ばれる地ではない。

购物，有东京银座、大阪心斋桥敞开双臂欢迎你；感受日本文化，有古城奈良、京都满载历史静候你；若要赏樱，4月的清水寺、岚山、金阁寺必会送你一个灿如云霞的樱花回忆。

ショッピングなら、東京銀座や、大阪心齋橋が腕を大きく開いてあなたを歓迎する、日本文化を味わいたいなら、古都奈良や、京都の満載の歴史が静かにあなたを待つ。もし桜を鑑賞したいなら、4月の清水寺や嵐山・金閣寺がまばゆい霞のような桜の花の思い出をくれるに違いない。

而和歌山，似乎只是一座不起眼的小城。

ひきかえ和歌山は、見た目の悪い一小都市と言える。

可是，它也拥有属于它的骄傲——和歌山的居民们，打从心底热爱着它、始终默默守护着它。

しかし、そこにもその誇りがある。和歌山の市民は心底自分の街を熱愛し、いつも黙々と自分の街を守っている

和歌山的标志性建筑物是和歌山城。

和歌山のシンボルの建築物は和歌山城だ。

城内的公园、动物园是一家人度过悠闲周末的首选之地，孩子们可以在这里亲近大自然、和小动物们交朋友。

城内の公園、動物園は家族がゆったりした週末を過ごすのに最適な所で、子供たちはこちらで大自然に親しむことができ、小動物たちと触れ合う。

日本的很多幼稚园常会在春秋两季组织小朋友来此处远足，童稚的欢声笑语为和歌山城平添许多活力。

多くの幼稚園行事で春と秋に子供をここに遠足に連れて来る。園児の楽しげな笑い声が和歌山城に多くの活気を与える。



城内的天守阁，于 1958 年严格按照昔日图纸重建，威仪依旧。

城内の天守閣は 1958 年に厳格に昔の図面に基づいて元の威厳そのままに再建された。

进入天守阁，有一座小型博物馆，其中展列的均是与德川家有关的各种物品，由于展品数量有限，所以能够呈

现出的历史感也较稀薄（个人感觉）。

天守閣に入ると小さな博物館がある、そこに陳列されるのは全て徳川家関連のいろいろな物である。

展示品数量に限りがあるので、表すことが出来る歴史感はやや乏しい。（個人の感想）

天守阁的最高层是观望台，四面设瞭望镜，可将市内景色一览无余。

天守閣の最上階は展望台である。4方向に望遠鏡があり、市内の景色を隈なく見られる。

但私以为，和歌山的优美并不能从这些瞭望镜中全部领受，它的气质之美，远在视线范围之外。走马观花、到此一游无非只是成了日后的谈资，若要真切感知这座城市的温度，必须躬身靠近。

ただ私が考えるには、和歌山の優れた美しさは、決してこの望遠鏡から全て受けとることは出来ない、それは気質の美であり、遠く視線の範囲外にある。表面だけを見て、ざっと眺め、ここでちょっと遊ぶだけなら、ただ今後の話のネタにするだけに過ぎない、はっきりこの街の温度を感知したいなら、自らの身を近づけなければいけない。

城内古树很多，粗粗的树干很有历史感。即使一个人在城中闲逛也不会寂寥，因为那么多树有那么多故事要说给你听。

城内には古木がたくさんある。太い木の幹は歴史を感じさせる。たとえ一人で城中を散策しても寂しくないだろう、そんなに多くの物語を持った、そんなに多くの樹が、あなたに語りかけてくるから。

城内还有一个在江户初期就享有盛名的庭园——西之丸庭园，它是以前藩主专享的风雅之地。利用伏虎山急峻的斜面，以泷石组为中心多据立石，整体大方精致。



城内にはまた江戸初期に名声を博し西の丸庭園という庭園がある。それは以前藩主が専ら楽しんだ風雅な場所である。伏虎山の急峻な斜面を利用して、滝石組（たきいわぐみ）を中心に立石を多く据えて、全体的にすっきりと精巧だ。

春有樱花绚烂，秋有红枫静美（因之又名红叶溪庭园），庭园不大，却处处是景，园内小桥流水，看似无意落成又像精心设计，让人一再流连玩味。

春は桜が咲きほこり、秋は紅葉が静かに美しく（これにより別名紅葉溪庭園）、庭園は大きくないが、にもかかわらずいたるところに見所がある、園内小橋流水、見れば考えずに作られているようだが細心に設計されていると思われ、名残惜しく離れられない味わいを与える。

和歌山城对面是大型书店和酒店餐馆，和食与中餐俱全。

和歌山城の向かいには大型書店を備えたホテルとレストランで、和食と中華なんでも揃っている。

公园门口有直通黑潮市场（海鲜烧烤）的巴士。

公園入口には黒潮市場（海鮮バーベキュー）行きの直通バスがある。（注）正しくは「マリーナシティ」行き

和黑潮市场一起的，就是欧式建筑的游乐园，可以欣赏日本艺人的街头卖艺（通常是个小老头，幸运的话会遇见小帅哥），也可以看到可爱的海豚表演



，孩子们应该会很喜欢。

黒潮市場と同じところに、ヨーロッパ建築の遊園地があり、日本人芸人の大道芸（普段は老人だが、運が良ければイケメンな若者に会える）を鑑賞できる。また可愛いイルカの演技も見られ、子供達はきっと歓声を上げるだろう。

游乐园附近有各种酒店和温泉，可以

边泡温泉边欣赏海景。蓝蓝的天上白云飘，白云下面鱼儿跳；远处环山，近处一排排小快艇靠着码头，舒服惬意。





遊園地付近には各種のホテルと温泉があって、温泉に入りながら海の景色を楽しめる。青い空に白い雲が漂い、白雲の下では魚が跳びはね、遠くに取り囲む山、近くには小さいモーターボートが埠頭に並び、気分良く心が満たされる。

离和歌山市不远，有一处名叫加太的海岸城镇，这里有一个规模不大却十分有名的神社——淡岛神社。

和歌山市内から遠くない所に、有名な加太海岸と言われる市区が有る、ここには規模は小さいけれど有名な淡島神社という神社がある。

传说淡岛神是专门守护女人的女神，所以参拜的人们以求子、求安产的为多。此外，作为度假村的加太，美食和温泉环境也相当不错。

伝説では淡島の神は女性を守るのが専門の女神で、だから参拝者は子供を授かりたい人や、安産を求める人が多い。この他、休暇を過ごすには加太は、美食と温泉と自然も素晴らしい。

紧靠淡岛神社的是拥有天然加太温泉的海月酒店，在这里可以一边烧烤一边欣赏海景，还有各种和式套餐任由挑选，每一种套餐都是看起来量少，可是真的吃下来得有十二分饱。



淡島神社の直ぐ横に天然加太温泉を擁する海月ホテルがあり、ここでパーベキューをしながら海の景色を鑑賞することが出来、また各種和食の定食を選び、それぞれの定食は皆見た目には量が少ないが、しかし実際食べていると12分にお腹いっぱいになる。

海月酒店楼上有一些规模很小的温泉，而真正的露天温泉都在门外，第一次去时着实吓了一跳，因为温泉下面就是大马路。

海月ホテル階上にちょっと規模が小さい温泉があるが、本当の露天温泉は全て屋外にあり、最初に行った時は実にビックリした、なぜなら温泉の下はすぐ大通りだったからだ。

白天泡进温泉里，尽情享受日光浴，远处海天一色，偶有轮船经过。稍微眯一会眼睛再睁开，红红的一片，分不清是海是天。

白昼温泉内に浸って、存分に日光浴を楽しみ、遠く海と空は一つの色になる、まれに汽船が通過する。やや少しの間目を細めて再びあけると、赤い片々で、海か空かはっきり見分けられない。

此时内心宁静澄明，仿佛一切烦恼都已离我远去。脑海中自然而然地浮现出欧阳修《醉翁亭记》中的句子：“环滁皆山也。其西南诸峰，林壑尤美。望之蔚然而深秀……”

この時心は清明で、まるで一切の憂が全て私から遠く離れ去ったかに思える。頭の中に自然に欧阳修《翁亭に酔うの記・中国文》の一節が浮かんで来る：“滁（Chu）の周りはみな山である。中でも西南の諸峰、林壑（がく）が最も美しい。これを望めば木がこんもり茂り深く秀でたる……”

在我眼里，和歌山是大自然的宠儿，它被无处不在的水穿搭着，魅力尽显。

私の目には、和歌山は大自然の寵児で、それはどこもかしこもが水で装いされていて、魅力が現し尽くされる。

和歌山还有一道亮丽的风景，即是我的大学——和歌山大学。

和歌山にはまだ美しい景色の所がある、それは我が大学、和歌山大学である。

这是一所国立学校，地处和歌山山头。

ここは国立大学で和歌山の山の上にある。



在学校的時候，每每看着同學們跳街

舞、開小型演唱會、吹奏各種樂器或在球場揮灑汗水，就會覺得分外青春飛揚。

在學中はいつもクラスメートと街で遊んだり、小さな演唱會を開いたり、いろんな樂器で吹奏したり、またグラウンドで汗水を流したりして、非常に青春の昂揚を感じた。

大學里的老師幽默風趣十足，對待外國留學生異常親和。即使現在畢業了，想起導師對我的關照，也感到非常暖心。

大學の先生はユーモラスでおもしろく、私達外國人留學生に特別に親しく接してくれた。現在卒業しても、指導先生が私を面倒見てくれたことを思い起こし、非常に心温かく感じる。



和歌山不僅自然風光得天獨厚，民風亦十分淳樸。

和歌山は自然風景が恵まれているだけでなく、民の風が非常に純朴である。

每次初出山時還會感嘆外面的天地無限好，可是不足半日，就會開始想念山里。

いつも和歌山を出る時、外の世界もまた限りなく素晴らしいことに感嘆する、しかし半日も待たずして、和歌山を懐かしく思い始める。

山里人出門在外懂得替他人着想，任何時候都以不給他人造成困擾為前提而行動；山里人最見不得有人手拿地圖辛苦找路，他們會非常熱心地親自把你帶到目的地；山里人的商店、便利店，服務員永遠面帶笑容，不怕人不買，就怕買了不稱心；山里的交通永遠

通暢，路邊永遠不會有垃圾，山里人的垃圾都是按照分類放得老老實實的。山里的生活，讓人安心、稱心。

和歌人は外出して外に居る時も他人のためを思う、いかなる時も皆が他者困らせないことを前提に行動する；和歌山人は人が地図を手にも道を探して困っているのを見ておれない、彼らは非常に熱心に自らあなたを目的地と一緒に連れて行く、；和歌山人の商店、コンビニ、従業員は顔に永遠の笑みを浮かべて、買わない人も怖がらせない、怖くて買っては満足できない；和歌山の交通はずっとずらずらと進んでいて、道端はずっとゴミがあることがあり得ない、和歌山人のゴミは全て正直に分類されて出される。和歌山の生活は、人を安心させて、すっかり満足する。

朱沐说过，福报业障摆在那里，自然有属于你的房子。

朱沐説は言った、禍福は因果關係で存在しており、あなたに合った居場所が自ずとある。

我对自己说，因缘际会在这里，也总有一个小城适合你。

私は自分に言う、縁によりここで出会ったとしても、小さな街が自分にピッタリだ、と。

文中内容及观点不代表朱沐的小仙鹤平台立场

**关于朱沐** (朱沐について)

朱沐，金融从业者兼作家。著有小说《当我足够好，才会遇见你》与《当我足够爱，才敢失去你》。曾混迹北京 10 年，现居香港，任香港某资产管理有限公司 COO 及三棵竹文化娱乐有限公司董事长。工作之余写作小说和剧本，虔诚礼佛。

朱沐微博：@Lydia 朱沐微信号：zhumufans 长按二维码，一起成为朱沐的小仙鹤



著者：宗閃（中国河南省出身、平成 29 年和歌山大学経済学部大学院卒業、和歌山市在住）  
訳：渥美正道（NPO 法人 I ターン交流プラザ理事長 昭和 43 年和歌山大学経済学部卒業）